

東町2区町内会主催

「防災体験型イベント(津波避難訓練)」を実施しました

11月15日(土)、東町2区町内会主催で、津波からの避難を想定した防災訓練を実施しました。

参加した町民17名は避難開始時刻に合わせ、避難目標地点まで徒歩や自動車などで避難し、概ねの想定どおりの避難が完了しました。

このたびは、北海道大学広域複合災害研究センターの協力をいただき、参加者にGPSを携帯しながら、避難時間や避難経路の計測なども行いました。

その後は、役場で非常食の試食や、災害用トイレ、段ボールベッドなどの使い方を確認するなど避難生活の一端を体験しました。

さらに、町公式LINEを活用した防災マップの活用方法などのスマホセミナーも実施しました。

今後このような訓練を実施していく予定ですので、ご要望があれば、問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

危機対策課防災係
☎0137-6212226

スマホセミナーのようす



避難訓練のようす

交通安全啓発

八雲町内の 特に注意が必要な交差点

町内には、事故が起きやすい交差点がいくつかあります。特に左記の交差点では、より一層、運転や走行に気を付けましょう。

●注意が必要な交差点の例

- ① つかもと整骨院前の五差路交差点
一時停止標識がある道路とない道路が混在しています。
- ② 役場セブンイレブン付近の曲がった交差点
見通しが悪く、歩行者や自転車との接触事故が多発しています。
- ③ 梅村庭園前の変則交差点(踏切付近)
踏切方向以外は視界が悪く、事故が起きやすい構造となっています。
- ④ 保健所付近の狭い交差点
建物や立木により見通しが悪く、通学路でもあるため特に注意が必要です。

●交通安全のポイント

- ・一時停止標識がなくても、危険を感じたら止まりましょう。
- ・走り慣れた道でも、油断せず基本に忠実な運転を心がけましょう。

けましょう。

- ・歩行者・自転車・子どもたちの動きに常に注意を払いましょう。
- ・交通安全は、町民一人ひとりが心がけましょう。
- ・「譲り合い」と「余裕のある運転」で、交通事故ゼロのまちを目指しましょう。

詳しい交差点箇所などは、問い合わせいただくか、左記二次元コードからご確認ください。

【問い合わせ先】

危機対策課交通防犯係
☎0137-6212226



町HP

日本海溝・千島海溝沿いにおける後発地震注意情報について

北海道から東北地方の太平洋側にかけて延びる日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合は、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されることとなっています。

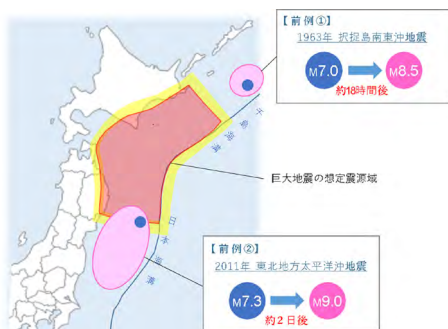


図1 過去の事例と巨大地震の想定震源域 (内閣府防災ホームページより)

この注意情報が発表された場合は、地震発生後およそ1週間、平常時からの備えを再確認し、社会経済活動を続けてください。

揺れを感じたり、津波警報等が発表された場合は、速やかに避難しましょう。

【平常時からの備えの一例】

- ・家具などの固定
- ・避難場所などの確認
- ・家族などとの安否確認手段の取り決め
- ・非常持出品や備蓄品の確認など

【問い合わせ先】

危機対策課防災係
☎0137-6212226